

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



【かんしょ】 宮崎県 川崎さん

線虫被害の悩みがすっかり解消。 効果も使い勝手も良く重宝しています。



川崎さん親子(写真左からご本人、お父様、ご長男)

かんしょ作りの要は土、
ネマトリンエースが欠かせません。

宮崎県串間市大東地区で作られるかんしょは、『ヤマダイかんしょ』のブランドで知られています。ツヤのある鮮やかな赤色であることから「赤ダイヤ」とも呼ばれ、ホクホクとした食感と上品な甘さが特徴です。

西日本有数の一大産地である大東地区で、JA串間市大東かんしょ部会長を務める生産者の川崎さんを訪ね、ネマトリンエース粒剤についてお話を伺いました。

もともとかんしょが好きだったという川崎さんは、専門学校を卒業後、家業を継いで40年前に就農。現在はお父様とご長男と一緒に親子3代

で農業を営んでいます。

「かんしょ栽培には、土作りが一番大事」と断言する川崎さんですが、害虫防除に関しては、以前、土壌くん蒸剤と他の薬を使っていた時、一部の圃場に線虫被害が出てしまったそうです。その時、友人からすすめられたことをきっかけに、ネマトリンエース粒剤を使い始めました。その効果ははっきりと現れ、「線虫被害が皆無と言っていいほどに激減しました」と笑顔で当時を振り返ります。

ガス抜きいらずで労力は減り、
かんしょの品質が格段に上がった。

本格的にネマトリンエース粒剤を導入してからは、畑の隅々までよく効いていて、肌の色も良くひげ根の穴が滑らかな綺麗なかんしょが多く採れるようになったそうです。「土壌くん蒸剤の場合は、処理後に鎮圧、被覆し、所定期間経過後ガス抜きを行うなど作業が多く時間がかかりますが、ネマトリンエース粒剤は畝立て時に処理して混和するだけなので重宝しています」と、使いやすさを実感されています。

農業に従事してからの40年を振り返って、「一つの悔いもない」と晴れやかな表情の川崎さん。生産者として喜びを感じる瞬間は、「苦労して育てた結果、天災や病害虫の被害を受けることなく綺麗な芋が採れた時」と話してくれます。

また、川崎さんの圃場はヤマダイかんしょの発祥の地でもあります。現在、基腐病の発生によって苦境に立たされていますが、川崎さんは前向きです。「生産者一同、ヤマダイかんしょの栽培に心血を注いでいます。これからもヤマダイかんしょをよろしくお願ひします」と熱く語ってくれました。

※取材時(2023年9月)における個人の感想をもとに作成しています。



*剣は合成です。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。